
紡ぎ人

壺岐 鹿目

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紡ぎ人

【Nコード】

N9870Y

【作者名】

壺岐 鹿目

【あらすじ】

2056年。28年前に現れた化け物ラヴオスと戦う戦士、紡ぎ人であるトラウム。
その戦いをここに刻む。

“悪夢を見たいか？”

キャラ紹介

トラウム（とらうむ）

イメージCV / 井上 麻里奈

本作の主人公兼ヒロイン。

12月24日生まれで16歳。身長155cm、体重39kg。3rdクラスの紡ぎ人で、バトラー。ルキア種でもある。パートナーは妹である雪乃。2年前までとある青年とタッグを組んでいたが、青年が行方不明になってしまった為2年前から雪乃とタッグを組んでいる。

黒く長い髪に中性的な顔立ちをしている。また胸が小さい（Aカップ）為男装をすると男に見えてしまう。普段は黒い着物のような衣装を着ていて、家では浴衣を着ている。

かなり冷静な性格をしており、相手を近づけさせないオーラを常に漂わせている。根は優しく、ぶつかった子供の心配をしたりもする。いわゆる昔のヤンキー。

紡ぎ人として3rdクラスの称号を持つが、実際の实力はそれ以上で4thクラスのRとも同等にやり合うことも出来る。戦闘時は睦風桜と呼ばれる日本刀を持って戦う。また体内にミストルテインと呼ばれるラヴオスを宿している為身体能力を一時的に上昇させることも可能。その際には髪の色が黒っぽい紫色に変色し、目の色も赤に変わる。

トラウムとは愛称で、本名は不明（苗字は寿）。根から日本人。

キャラモデルは「神様のメモ帳」の「アリス」と「僕は友達が少ない」の「三日月夜空」。

寿 雪乃（ことぶき ゆきの）

イメージC V / 井上 麻里奈

トラウムの双子の妹。

12月24日生まれで16歳。身長153cm、体重は不明。2ndクラスの紡ぎ人で、サポーター。パートナーは姉であるトラウム。トラウムの双子の妹だけあり、黒く長い髪を持っている。ただトラウムとは違い中性的ではなく完全な女性的な顔立ちをしており、胸もある（Cカップ）。普段はトラウムとわかりやすいように髪をポニーテールにしており、ジャージを着ている。ただ家では髪を下ろして、浴衣を着ているため区別がつかない。

重度のシスコンでトラウムの身の回りのことは全てしている。またトラウムの悪口を聞くとかなり怒るため彼女の前でのトラウムの悪口は厳禁となっている。普段優しい女の子だが、怒ると鬼のような性格になる。

トラウムのサポーターのため戦闘時は主に魔術による援護か銃による銃撃戦となる。

あつめ
R

イメージC V / 沢城 みゆき

紡ぎ人連続殺人事件に登場する4thクラスの紡ぎ人。

生年月日不明の17歳。身長164cm体重46kg。

銀色の透き通った髪に青い中世時代のローブを身に纏い、その上から胸当てと籠手を身につけている。髪は三つ編みのおさげにしている。

紡ぎ人連続殺人事件の際、協会からの依頼で事件を解決しようと捜査していた際にトラウム達と出会う。

キャラのモデルは緋弾のアリアの「ジャンヌ・ダルク」。

用語集

紡ぎ人【つむぎびと】

この世に生まれた邪悪なる存在、ラヴォスを倒す為に協会に育てられた戦士達。紡ぎ人になる際、体内に秘められた魔力を呼び起こす為魔法のような力を使うことも出来るが強力な魔法は才能のある紡ぎ人に限られる。

基本的にはバトラーとサポーターの二つの種類がある。バトラーは武器を持って魔力で上昇させた身体能力を駆使して戦う紡ぎ人。サポーターは名前通りバトラーのサポートをする。背後から遠距離武器や魔法を使って援護したり回復魔法で治療したりする。

また紡ぎ人にはクラスが存在し、一番下の1stクラスから一番上の6thが存在する。6thは協会では3人しか存在しない。

ラヴォス【らうゝおす】

人の思念が暴走して生まれた魔物。色んな形をしており、人の形や化け物みたいな形、物の形をしたりしている。生まれると更なる力を求めて人の魂を食べようと人を襲う。またラヴォスにも1〜6までのレベルがつけられている。

ルキア種【るきあしゅ】

魔力の呼び起こしを行っていない人間がラヴオスに襲われた際に起こる共鳴から生まれた人種。普通の紡ぎ人と魔力回路が全く違い、魔力を無限に作り続けることが出来る。ただその強力な能力故に、紡ぎ人の養成学校に入学することが許されておらず、普通は専用の施設に容れられる。

展開装甲【てんかいそうこう】

魔力で作った防御壁。またこれを刃物のようにすることも可能だが、かなりの技術が必要になる。

0章【夢】

君は夢を知ってるかい。

眠っている時に見る方の夢。

なら夢の存在って有り得るかな。

夢の世界の住人が現実世界にいる。

そんなこと、有り得ないよね。

でも、夢の存在した。

だって、私が夢だから。

2028年。

人類は誕生して初めて見えないものに滅ぼされた。それは人類そのものだった。人類の感情がそのまま化け物となり、人を襲うようになった。人類はすぐに対抗策をとった。だが、人類は成す術もなく滅ぶこととなった。しかし化け物に襲われた一人の人間が化け物と共鳴し、融合するという現象が起こり人類は融合した人間の体内を調べそれをヒントに魔力を得た。そして人類は滅ぶことなく今もその化け物、ラヴオスと戦い続けている。

紡ぎ人と呼ばれる戦士達が。

28年後。

「雪乃、位置は？」

雪の積もる静かな森の中で、私はただ走り続けていた。2度という寒さの中走り続けているせいか、防寒具を着けていても寒い。

<後30度くらい南に移動して150m東に走り続けて>

耳につけたインカムから高めの声の機械音が聞こえた。と同時に私は真っすぐ走り続けながら右に数歩ズレた。走り続けると一つの木

の上に黒い物体が侵食していることに気付いた。間違いなくアレだ。

「見つけた。雪乃、逃がさないよう待機を頼む」
<了解>

ザザッというノイズ音と共に私は腰にぶら下げていた刀を抜いた。

「……悪夢を見せてやる」

刹那、その一振りで全てが終わった。

「本当にありがとうございました」

暖かい暖炉のある部屋で、シワの多い顔をした老婆が机の上に札束を置いた。今回の仕事の報酬のお金だ。

「7000円、確かに受け取った」

「御依頼、ありがとうございました」

私、トラウムは先程とは違い着ていたコートを椅子の上に脱ぎ捨て、ニット帽も雑に机の上に放置して身軽な格好をしている。その横にいる私にそっくりな女。髪を束ねているので見分けがつきやすいこの女は私の双子の妹で仕事のパートナーである寿雪乃。私は報酬のお金を確認すれば雪乃に渡し、コートとニット帽を手にとれば部屋を出た。

「何かあったらまた連絡をくれ。私達“紡ぎ人”が駆け付ける」

紡ぎ人。

それが私達の仕事だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9870y/>

紡ぎ人

2011年11月29日21時46分発行